

はもりあ通信

第6回(最終回)

～はもりあフェスタ～

男女共同参画センター「はもりあ四日市」では、毎年2月に、市民の皆さんと協働で「はもりあフェスタ」を開催しています。男女共同参画を身近に感じてもらうとともに、はもりあ四日市に登録しているグループの活動を知ってもらうことを目的として、介護・子育てなど、さまざまなジャンルをテーマに男女共同参画の視点を取り入れたワークショップを行っています。

「はもりあフェスタ」は、はもりあ四日市で行う最も大きなイベントで、夏頃に企画運営委員会を立ち上げ、登録グループの皆さんと共に話し合いながら準備を進めてきました。

開設20周年である今年度は、開催日を2月3日(金)～5日(日)、テーマを「原点回帰」と決めました。そして、オープニングでは、20年を写真などで振り返り、エンディングでは、関わってきた人たちによるパネルディスカッションを開催することとしました。

このように、はもりあ四日市は、市民グループの皆さんとの協働でさ

まざまな事業を進めています。ホームページや広報よっかいちなどで随時お知らせしますので、ぜひご参加ください。



毎年2月に開催する「はもりあフェスタ」のチャレンジショップ

問い合わせ先
男女共同参画課
(☎354-8331 FAX354-8339)

正しいごみ出して クリーンなまちを

第3回

～ごみの減量とごみの分別にご協力ください～

昨年4月から四日市市クリーンセンターが稼働し、プラスチック類を「可燃ごみ」として出すことができるようになりました。ごみの分別が分かりやすく、ごみが出しやすくなったとのお声も多くいただいています。

一方、ごみが出しやすくなった影響からか、ごみの量は昨年度の同月比で10%程度増加しています。新しい分別方法になった初年度でもあり、今後もこの状況が続くとは言えませ

んが、ごみの量が増加すれば施設の劣化も早くなります。施設を長く大切に運営していくためにも、ごみを減らすことは重要です。

可能な限り「無駄なものは買わない、もらわない」「ものを大切に、長く使う」ことや、資源物となるものをきちんと分別することも、ごみの減量につながります。

また、スプレー缶やライターなどが誤って可燃ごみや破砕ごみに入り込んでしまうと、収集車両や施設での火災などの事故を引き起こす要因となります。本市でも、昨年12月17日にクリーンセンターのごみピット

平成28年4月から、ごみの処理方法や出し方が変わりました。「3R」リデュース(ごみを減らす)・リユース(繰り返し使う)・リサイクル(資源として再利用する)に取り組み、ルールを守って正しいごみ出しをしましょう。

で火災が発生しましたが、けが人や施設の被害はありませんでした。

今後さらに施設の安全な運営に努めますが、このような事故を防ぐためにも、改めて分別のルールを守り、ごみの減量が進むよう、ご理解とご協力をお願いします。



ごみの出し方はこちらから

問い合わせ先
生活環境課
(☎354-8192 FAX354-4412)

有料広告掲載欄

三重のニュース
いっぱい!

伊勢新聞

本社：津市本町34番6号 PC・スマホ・タブレットで
☎059-224-0003 伊勢新聞 検索

●購読のお申し込みは、お近くの販売店へ。●



本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。